学校番号	３０１

令和２年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅱ（理型）	単位数	４単位	年次	２年次
使用教科書	数研出版「数学Ⅱ　改訂版」						
副教材等	数研出版「サクシード　数学Ⅱ＋B　改訂版」，「フォローノート数ⅡＢ」						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自然科学における真理は、正しい仮定と正しい推論にさえよれば万人が手に入れられる、人為に左右されない普遍的な価値です。学校数学で扱われている内容は先人によって既に確立されたものですが、あなた自身でそれを再発見することにこそ、喜びと意義があります。営々と築かれてきた人類の叡智を受け継ぎ、後世に伝えていって下さい。

2　学習の到達目標

・図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数および微分・積分の考えについて理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに，それらを活用する態度を育てる。
・極限についての理解を深め，知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに，それらを積極的に活用する態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識・理解
観点の趣旨	数学的活動を通して，図形と方程式，いろいろな関数および微分･積分，極限の考え方に関心をもつとともに，数学的な見方や考え方のよさを認識し，それらを事象の考察に活用しようとしている。	数学的活動を通して，図形と方程式，いろいろな関数および微分･積分，極限の考えにおける数学的な見方や考え方を身につけ，事象を数学的に捉え，論理的に考察し，表現するとともに，過程を振り返り多面的・発展的に考える。	数学的活動を通して，図形と方程式，いろいろな関数および微分・積分，極限の考えにおいて，事象を数学的に考察し，処理する仕方や推論の方法を身につけ，的確に問題を解決する。	数学的活動を通して，図形と方程式，いろいろな関数および微分･積分，極限の考えにおける基本的な概念，原理・法則，用語・記号などを理解し，基礎的な知識を身につけている。
評価方法	確認テスト 単元テスト ワークシート レポート 観察等	単元テスト 定期テスト ワークシート レポート 観察等	確認テスト 単元テスト 定期テスト 観察等	確認テスト 単元テスト 定期テスト レポート 観察等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	式と証明・高次方程式 図形と方程式	式と証明 高次方程式 点と直線 円 軌跡と領域	○	○	○	○	a:関心をもち，その有用性を認識している。 b:図形に関する数学的な見方や考え方を身につけている。 c: 図形を、方程式を用いて表現することができる。 d:基本的事柄を理解し知識を身につけている。	テスト レポート 観察等
1学期・2学期	三角関数	一般角の三角関数 三角関数の加法定理	○	○	○	○	a: 三角関数に関心をもち，三角関数の有用性を認識している。 b:三角関数的な見方や考え方を身につけている。 c: 三角関数の値を求めることができる。 d:基本的事柄を理解し知識を身につけている。	テスト レポート 観察等
2学期	指数関数・対数関数	指数と指数関数 対数と対数関数	○	○	○	○	a:指数関数，対数関数に関心をもっている。 b: 事象を指数関数・対数関数的な見方や考え方を身につけている。 c:指数関数や対数関数を用いて数量の変化を表現できる。 d:基本的事柄を理解し知識を身につけている。	テスト レポート 観察等
2学期・3学期	微分と積分	微分係数と導関数 導関数の応用 積分	○	○	○	○	a: 微分法や積分法に関心をもち，事象の考察に活用している。 b: 事象を微分法や積分法を用いて，数学的な見方や考え方を身につけている。 c: 微分法を用いて関数の値の変化を調べたり積分法を用いて数量を求めることができる。 d:基本的事柄を理解し知識を身につけている。	テスト レポート 観察等
3学期	関数と極限	関数 数列の極限 関数の極限	○	○	○	○	a: 数列や関数の極限について関心をもち，極限を求めようとしている。 b: 数列や関数の極限を考察し，数学的な見方や考え方を身につけている。 c: 数列や関数の極限を求めたり，無限級数の和を求めるための技能を身につけている。 d:基本的事柄を理解し知識を身につけている。	テスト レポート 観察等

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:数学的な見方や考え方
c:数学的な技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。